

【支部予選大会開催にあたっての留意事項】

(1) 観客の制限について

部員生徒のみの観戦とする。保護者・一般の観戦は、不可とする。

登録メンバー以外の応援方法については、応援に関係するグッズ（メガホン・太鼓等音の出るもの）は使用禁止とし、部旗（横断幕）やのぼりについては極力控え、使用した場所については消毒を行う。お互いの距離を座席2つ分は空ける・マスクをする・大きな声を出さない等、感染防止の為に必要な配慮のもと、行うようにする。ウォームアップエリアでの応援についても大きな声を出さない等配慮する。遵守されない場合は試合を中断することもある。

(2) 集合時間の時差設定

各自の時間帯で

試合・補助役員の終わったチームは速やかに解散し会場に残らないようにする。

体育館入館の際には、引率責任者が付き添い、役員に人数を伝えチェックリスト一覧表：別紙2を見せてから入館する。チェックリスト：別紙1、チェックリスト一覧表：別紙2は構成メンバー表とともに競技委員長に提出する。必要があれば体温チェックを主催者の準備した体温計にてチェックする場合もある。

（体育館フロアは登録メンバー（14名）＋監督・コーチ・マネージャー・トレーナーのみ）

1日目勝利チームに関してはチェックリスト：別紙1、チェックリスト一覧表：別紙2は2日目も提出必要。（2日目の体育館フロア入場時に役員に提出し、構成メンバー表の確認もそこで行う。）

(3) 施設の対策

アルコール消毒液を配置し、エアコンを作動している場合も換気を行うようにする。

可能であれば、セット・ゲームごとの換気を行うようにする。

換気扇のある場所については常時回しておく。小窓を開けておく等、換気に配慮する。

更衣室やトイレなども3密を防ぐことや荷物・ゴミ等を置かないように配慮する。

(4) 個人の対策（チーム・役員へのお願い）

- ・チェックリスト項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

（大会当日に書面で確認、チェックリスト：別紙1、チェックリスト一覧表：別紙2）

ア 大会前2週間における事項の確認（体調不良、濃厚接触、渡航歴に問題がある等）

①平熱を超える発熱があるか。

②咳、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常はあるか。

③体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等があるか。

④新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はあるか。

⑤同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方はいるか。

⑥過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触はあるか。

イ 大会参加時の留意事項に関する確認（大会運営中感染予防のための対策協力等）

- ①マスクを持参すること。（着替え等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを必ず着用すること）
- ②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。
- ④大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。座席の間隔を2つは空けること。
- ⑤ごみの処分方法に注意し、持ち帰り及び各自での廃棄を徹底すること。
- ⑥感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ⑦大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

*チームは上記の確認のため、チェックリスト：別紙1を提出するとともにチーム関係者（選手スタッフ）の氏名一覧に必要事項を記入した表、チェックリスト一覧表：別紙2も提出すること。

ウ 役員に対するの確認事項

- ①役員は本部にチェックリスト：別紙1を提出すること。
- ②審判はマスクを必ず着用し、主催者の準備した電子ホイッスルを使用し、消毒・管理を徹底すること。また、生徒役員が使用する備品（ラインズマンフラッグ・電子ホイッスル）等は、試合ごとに消毒を行うこと。

(5) コロナ感染対応について

- ・大会期間中に、平熱を超える発熱や咳、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等「チェックリスト ア①～③参照」の症状が見られた場合は速やかに大会主催者に報告し、各市町村の保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」へ連絡し対応する。その場合主催者の判断で大会を中止にすることもある。

【大会運営について】

- (1) 代表者会議は行わない。必要事項は、大会要項等に記載する。
- (2) 構成メンバー表+チェックリスト+チェックリスト一覧表の提出・ラインナップシートについて各自の時間帯
までに構成メンバー表+チェックリスト+チェックリスト一覧表を大会要項に役員へ提出する。
その際に、ラインナップシートを受け取る。それ以降の選手変更は、変更があればその都度役員へ申し出る。従来の変更のみ受け付け、ベンチ入りの人数等に変更は無し。
- (3) 第3セットは、全て15点マッチで行う。
- (4) 試合開始・試合後の握手は行わない。
- (5) ベンチ入りメンバーについてもウォームアップエリアを通常より広くとる（会場に応じて）ので間隔をとるようにする。

- (6) 生徒役員の割り振りは、各自で
- (7) 閉会式は行わず、コート表彰とする。
- (9) チームで準備する物
 - ・試合球 2 球：プロトコールまでに審判に提出すること。
 - ・消毒できる物 (雑巾・消毒液)：ベンチ・観客席の消毒にご協力お願いします。
 - ・ワイピング用タオル

【競技上の注意事項】

- (1) プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らす。
- (2) 試合前の円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。
- (3) 競技中のハイタッチ・円陣などはせず、腕のタッチにとどめる。役員・審判によるコントロール。
- (4) ネット際などで、相手に向けた状態での発声は控える。役員・審判によるコントロール。
- (5) タオル、水ボトル、アイシングなどの共用を禁止とする。
- (6) ラインズマンや得点、記録要員の生徒役員は、可能な限り距離を取り競技に携わる。
- (7) その他、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な配慮を行う。

【棄権によるシードチームの救済措置について】

- (1) チーム関係者や学校関係者でコロナ感染症にかかり、シードチームがやむを得ず棄権をした場合に限り今大会はシードチームに対して救済措置をとることとする。最低限のシードは確保します。